AreaCopa

areacopa.com/ja/blog/shonen-sakka-serekushon

少年サッカーのセレクション チェックリスト

90分のセレクションの計画表

この資料はareacopa.comが提供しています。

チーム名 | 日付 | 責任者

案内を出すとき

案内を出す時点で、決まっていることです。

- [ ] 日時、会場、集合時間を確認
- [ ] ゲストの保険を確認（スポーツ安全保険は、加入した団体の活動のみが対象）
- [ ] 申込フォームを公開し、担当者の名前と電話番号を載せる
- [ ] 必要なら所属チームの承諾書を回収し、所属チームにも連絡（声をかけるのは本人ではなく保護者を通して）

1週間前

当日に何も欠けないように準備します。

- [ ] 参加の連絡を日時、場所、流れとともに送り、お断りの連絡も送る（定員を超えたらキャンセル待ちか2回目の日程）
- [ ] 参加者リストを確定し、保護者へのメール（流れ、保険、個人情報の扱い）を送る
- [ ] 観察者チームに説明（各ステーション、グループの半分ごとに2人以上、20〜30人なら4人）
- [ ] 評価シートを印刷（観察者ごとに1束）
- [ ] 番号付きのビブスと、番号と名前の一覧を用意
- [ ] 用具：コーン、ボール、ゴール、ペン、クリップボード

開始30分前

始まる前の、最後の手順です。

- [ ] ステーションを設営し、歩いて確認
- [ ] ステーションごとに観察者を割り当て、シートを配る
- [ ] 子どもへのあいさつを計画（自分はだれか、何が行われるか、何が行われないか）
- [ ] 保護者のエリアをはっきり区切る

ステーションの設営

ステーションごとの広さ、人数、観察の決まりです。

- [ ] ステーション1：8×8mのスクエア、4人、ボール2個、パスとトラップを交互に（3分後からコーチが指示を入れる）
- [ ] ステーション2：判断のある1対1（守備側の後ろにフリーの味方）
- [ ] ステーション3：4対4とジョーカー2人、小さなゴール、GKなし、1回4分
- [ ] ステーション4：グループの人数に合わせて5対5から7対7、20分間続けて、流れの中で交代
- [ ] ステーションごとに観察者2人、別々にメモを取る
- [ ] ステーションごとに統一した評価シート（上に番号、生年月日、おおまかな成熟度の見積もり）
- [ ] ステーションごとに1〜3項目、5つの観点（技術、戦術、フィジカル、メンタル、社会性）から1つずつ、4段階（1〜4）、見られなければ「評価できない」
- [ ] 胸と背中に番号を付けたビブス

90分の間

時間割と休憩の決まりです。

- [ ] ウォーミングアップ10分（ゆったり、評価のプレッシャーなし）
- [ ] ステーション1〜3は各15分、その間に2分の移動、ステーション4は20分の最終ゲーム
- [ ] 水分補給をはさんだ静かな休憩、その間に保護者との会話はなし
- [ ] 最終ゲームを、余韻ではなく、意図した観察の時間にする

選手ごとの観察の焦点

90分で確実に見える、5つの点です。

- [ ] ファーストタッチ（どちらの足か、ボールが次のプレーに使える位置に残るか）
- [ ] ボールを受ける前の確認（ボールが来る前に周りを見ているか）
- [ ] 判断の速さ（トラップから次のプレーまでのタッチ数）
- [ ] パスミスのあとの態度：ボールを追いかけるか、立ち止まるか
- [ ] コーチャビリティ：短いアドバイスを、次の試行で実行するか

終了直後（30分）

帰る前に、指導者チームで評価します。

- [ ] 指導者チームが集まり、シートを突き合わせる
- [ ] 異論のない子に印をつける（上位と下位）
- [ ] 観察が分かれたところを話し合い、理由をメモ
- [ ] 学年の前半生まれ（4〜9月）と後半生まれ（10〜3月、早生まれを含む）を分けて話し合う
- [ ] 暫定の選抜をメモし、保護者への連絡は翌日にする
- [ ] 選ばれなかった子の評価シートをシュレッダーにかける時期を決める（連絡と再度のセレクションのあと）

メモ